

# 北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2016.06.No226

6月号

## 目次

全道青年委員会連絡会議	1
「建築士の日」支部事業	3
道士会の動き	5
実行委員会報告	6
〔被災地応急支援・地域貢献活動センター〕	
Coffee Break	7
information	8

URL <http://www.h-ab.com/>



## 全道青年委員会連絡会議

本部青年委員 丹波 泰 哉 (千歳支部)

今年1月より青年委員会は新体制となりました。新体制となって初めての事業である「全道青年委員会連絡会議」を3月26日(土)、北海道立道民活動センター[かでの2.7]にて、全道各支部より53名の青年建築士が集まり開催しました。今回の会議は、いつもと少々趣きを変えて、研修会の他に座談会&体験会を企画しました。まずはじめの連絡会議では平成27年 事業報告及び決算報告、平成28年 事業計画及び予算、全道大会等の報告及び案内をしました。研修会ではPOP広告についてのセミナーを行い、座談会では「建築のお仕事体験」に関して率直な意見を交わしました。そして最後に行った体験会では頭と体を少々使ったゲームを行いました。



〈全道より集まった青年建築士〉

### ～ 連絡会議 ～

#### 1. 事業方針

『ひろげる つなげる』

前年までの3つの活動方針「スキルアップ」「地域貢献」「仲間づくり」を継承しつつ、『ひろげる つなげる』をキーワードとした活動を目指します。「ひろげる」とは、一般の人達(他団体)と

関わることで建築士(会)をアピールしていくことです。これは社会貢献の一環でもあり、建築士(会)のブランド力アップにもつながることを目的としています。「ひろげる」とは、次世代を担う子ども達に、建築又はものづくりの楽しさ・すばらしさを伝えていくことで、長期スパンで若者不足・人員不足を解消していくことを目的としています。



〈挨拶をする石塚青年委員長〉

#### 2. 事業計画

##### ①全道青年委員会連絡会議

日時 平成28年3月26日(土)

場所 北海道立道民活動センター[かでの2.7]

内容 連絡会議、研修会、座談会&体験会

##### ②青年建築士の集い

日時 平成28年5月21日(土)

場所 フラノマルシェ2 タマリーバ

内容 地域実践活動発表会、講演会

##### ③建築士の日イベント

日時 平成28年6月18日(土)・19日(日)

場所 新さっぽろサンピアザ 光の広場

内容 建築のお仕事体験を通じて、将来を担う子ども達に建築に興味を持ってもらう。

#### ④全道大会青年サミット

日時 平成28年9月30日(金)

場所 室蘭建設会館

内容 「鉄のまち室蘭からものづくりの原点を感じる」

#### ⑤全道大会C分科会

日時 平成28年10月1日(土)

場所 室蘭市

内容 避難所運営ゲーム (HUG)

### ～ 研修会 ～

『心に響くPOPデザインセミナー』と題し、講師に株式会社ピーオーピーオリジン 代表取締役 沼澤 拓也氏をお招きました。以前、札幌支部で開催したPOPセミナーにおいて、楽しく分かり易い講演内容だった為、再度依頼しました。

広告の文字の大きさ、配置、行数などお客様の興味を引く工夫や独自の手法を紹介して頂きました。最近では住宅展示場にPOP広告を導入して成約率を上げる秘策をテーマにした「コラボ住宅セミナー」が好評のようです。



〈沼澤氏によるセミナー〉

### ～ 座談会 & 体験会 ～

座談会は「建築のお仕事体験」に関して、今までを振り返って気づいた点と、毎年来てくれている子ども達に提供する新しいお仕事体験のアイデアの2点について、話し合いをする企画としました。

#### ①気づいた点で出た意見

- ・カッターを使うので目が離せない
- ・毎年来てくれる親子が居てやりがいがある
- ・スタッフの確保が大変
- ・士会の説明がなかなか出来ない
- ・どこかに「建築士会」の刻印が欲しい etc

#### ②新しいアイデアで出た意見

- ・段ボールハウス→並べて街づくり
- ・紙で3Dの家を造る
- ・木を使いたい
- ・バルーンアートで建築
- ・中高生を対象にCAD体験 etc

これらの意見を踏まえて、6月18・19日に行われるイベントに反映していきたいと考えています。

座談会に続きまして、少々頭と体を使う体験会を行いました。体験会のテーマはズバリ「紙は人を支えられるのか!?!」建築士としての知識をフル活用し、用紙で工作。やはり皆さんモノづくりが大好きな建築士。和気あいあいと笑いが飛び出しながら試行錯誤して工作していました。



〈工作の様子〉

最後に各班一人ずつ乗って何人乗れるか競争です。中には建築士らしからぬ班もあったようです!?



〈何人乗れるか競争!〉

このテーマは愛知建築士会青年委員会が主催して、実際に小学校の児童を対象におこなっている事業です。次世代を担う子ども達に「どうしたら人がたくさん乗れるのか?」など興味を持ってもらうことで、建築又はものづくりの楽しさ・すばらしさを伝えていくことができると思います。

### ～ 懇親会 ～

全道の青年建築士が集まると大いに飲み、語ります。余興のゲームでも大盛り上がりでした。私はこのひと時に「やっぱり建築士会っていいな!」とつくづく思います。



〈懇親会にて記念撮影〉

7月1日は建築士の日。  
今年も各支部で様々な事業を企画しています。ぜひ、他支部ものぞいてみてはいかがでしょうか。

支部名	開催年月日	事業計画	開催場所
札幌	7/1(金) 18:30~	◆第24回建築士祭り チケット販売予定数 1,200人分(例年 600~700人来場) チケット 1枚 2,500円(ビール・ソフトドリンク飲放題、軽食付) その他お酒、イベントゲームコーナー、別途チケット販売	ホテル札幌ガーデンパレス
	7/9(土) 9:30~	◆見学会「札幌の景観バスツアー(東区編)」 北海道大学名誉教授 角 幸博氏に解説いただき札幌景観資産、札幌市都市景観賞受賞作品等を見学	札幌市東区
千歳	7月中旬	◆イベント 出店 建築士会のPR及び街の活性化に寄与することを目的とし、市内で開催されるイベントに建築士会千歳支部として屋台を出店する。	千歳市
恵庭	8/7(日) 9:00~ 15:00	◆市内中学校 第7回「手づくり木工教室」開催 若年技能者人材育成事業の一環として、中学生に「手づくりで・・・ものづくりを楽しんでもらう」そして「技(わざ)」のおもしろさに少しでも興味をもってもらう。 毎年、市内中学校2校とし1校あたり生徒6名を派遣してもらい、2×4ベンチ(長さ1,820mm、幅400mm、高さ400mm)を1校あたり「6脚」製作。	恵庭市職業訓練センター
石狩	6月中旬	◆恵庭の道の駅を見学後、ビール園で懇親会	恵庭市
函館	7/8(金)	◆第29回チャリティ「ビア&ダンスの夕べ」 会員の親睦と市民との交流を図り、「建築士」の存在をアピールするとともに収益金の一部を社会福祉関係まちづくり関係団体等に寄付をしている。	ホテル函館ロイヤル
桧山	7/3(日) 9:30~	◆江差町かもめ島祭りの一行事である「全道北前船競漕大会」に参加し、スタートのアナウンスでのチーム紹介時に建築士会のアピールをする。 優勝賞金は10万円。一昨年は消防署チームや海上保安庁チームなど強豪の中、建築士会チームは7位入賞しました。競技の後は、応援団と選手一同で懇親会を行い会員の親睦を深めることを目的としている。(パーベキューチケットを協賛購入)	江差町かもめ島
小樽	未定	◆市内の幼稚園(1箇所)に木工品を寄贈し、園児と一緒に組み立てや塗装の作業を実施する。 ◆建築士会の活動についてPRするため、ポスターの展示などを行う(検討中)	
後志	未定	◆会員相互(賛助会員を含めて)の交流できる行事を計画 (パークゴルフコンペなどを予定)	
岩内	7/2(土) 13:30~	◆バードハウスDIY体験会	岩内マリンビュー
余市	7月上旬	◆パークゴルフ大会・交流会	
古平	7/2(土)	◆パークゴルフ大会・交流会	
室蘭	8/6(土)	◆親睦ビアパーティー 会員の懇親を深める為 ビンゴ大会・抽選会・ゲーム等	未定
苫小牧	7/17(日) 9:00~	◆地域貢献活動として道路の清掃ボランティアと施設見学会の実施 会員30名が参加予定。清掃ボランティアは安平町市街地の幹線道路沿いを予定 施設見学会は北海道電力安平町蓄電施設の見学を予定(世界最大規模の実証試験施設) 施設見学会と道路清掃が終了後に、安平町内のパークゴルフ場を会場にパークゴルフ大会を予定	安平町
空知	6/1(水) ~5(日)	◆北海道の建築技術の歴史文化パネル展	長沼町図書館ギャラリー
	7/1(金)	◆第27回建築士の集いビールパーティ	滝川 ホテルスエヒロ
北空知	8月中旬	第32回建築士と仲間の集い 青年部(パネル展)	深川 プラザホテル 板倉

支部名	開催年月日	事業計画	開催場所
留 萌	7月上旬	◆チャリティビアパーティー	留萌市産業会館
旭 川	7/1(金)	◆第29回チャリティービールパーティー ・建築士賞の表彰 支部管内において良好な都市環境づくり、人にやさしい住環境づくりをとおし て、北国の快適で豊かな街づくりに寄与し、顕著な功績があった個人・団体を 選考し表彰する。 ・寄付金贈呈・アトラクション・抽選会等	トーヨーホテル
士 別	7/1(金)	◆建築士の日ビールパーティー ・パネル展示 ・抽選会等	士別グランドホテ ル
富良野	7/1(金)	◆建築士の日ビールパーティー	アトリウム タマリーバ
上富良野	7/2(土) 18:00~	◆「建築士の日」ビールパーティー 士会と町民との交流及び活動のPRを目的。抽選会など実施し参加者は200名程度	上富良野町公民館
名 寄	7/1(金)	◆支部交流のジンギスカンパーティー	
十 勝	7/31(日) 11:00~ 16:00 (予定)	◆「帯広市まちなか歩行者天国」に出店し建築士についてPR 建築士会の活動をわかりやすく一般の皆様を知っていただくこと、また、建築の 仕事（もの創りの仕事）を次世代を担う子供たちに体験してもらい、未来の建築 士を夢見る子供たちを育てることを目的として、木に触れて、木で物を作る楽し みを実感していただき、もの創りの楽しさや建築の世界を身近に知っていただく 為に、「親子で作る木工作」を出店します。 建築士会は、市民と触れ合う事業として「木工作」を歩行者天国の一般市民に作 成してもらう。材料はあらかじめカットしてあり、完成までの所要時間は15分程 度で、小学生程度でも作成することができる。テント内には建築士会活動パネル を何枚か設置して、建築士会活動のPRも行う。参加料（材料費）として500円 をいただく予定である。	帯広市歩行者天国 内（西2条通り）
釧 路	7月予定	◆建築士会釧路支部恒例ビールパーティ 「建築士の日」事業開催（事業・青年・女性委員会共同）	会場未定
根 室	7月予定	◆焼肉懇親会	会場未定
中標津	7月予定	◆木製ベンチの製作、寄贈（寄贈プレート貼り付け） 木製ベンチを4台程度、支部範囲の自治体へ製作寄贈する。 又、これまでの寄贈ベンチの修繕も行う。	中標津町
網 走	7/9(土) (網走支部) 10:00~ 予定	◆「親子で花台作り」開催予定 過去3回開催の「親子で巣箱作り」に続いて昨年より2回目の「親子で花台作り」 で、木製キットの組み立てを親子で作業してもらう。 親子でのもの作りの楽しさ、その達成感を親子で体験してほしい。日頃もの作り に携わっている建築士会会員が指導して、親子の共同作業をサポートしていきたい。	網走市民会館
	7/9(土) (網走支部) 18:00~	◆第22回 親睦ビールパーティー 市民と建築士会の交流・親睦を通して、建築士会活動を周知していきたい。 近年では震災復興チャリティとして、益金の寄付活動を行い、会員相互の交流・ 親睦を深めることを通じて、建築士の資質・技術の向上につとめたい。	
北 見	7/9(土) 18:30~ 20:30	◆2016（一社）北海道建築士会北見支部ビールパーティー 市民と建築士会の交流・親睦を深めることを通じて、建築士会の普及啓発を図る。 会員相互の交流・親睦を深めることを通じて、建築士の資質・技術の向上を図る。 地域貢献活動の一環として収益金の一部から福祉施設へ車椅子の贈呈をする。	北見経済センター
紋 別	7月上旬	◆第17回支部長杯パークゴルフコンペ 「まきばの広場パークゴルフ場」	道立オホーツク流 氷公園内
宗 谷	7/5(火)	◆北門神社祭の御輿徒業に地域貢献活動・建築士会のPR活動として毎年参加。	



# 熊本地震 応急危険度判定 建築士会民間判定士活動報告

熊本地震による被災建築物の応急危険度判定を北海道からの要請に応じ北海道建築士会より2名の民間判定士が派遣され活動を行いました。

## 準備できてますか？



三嶋 克昭 (日高支部)

長く大きな地震のなかった熊本に、4月14日の前震、16日の同じ地域を襲った本震後、余震が続く中、19日、北海道建築士会被災地応急支援ネットワーク登録者のメーリングで連絡が来た。『民間判定士の派遣について、北海道からの派遣要請が有ることも十分予想される事から対応について御準備ください。』

本当に要請が来るのか、自分是对応可能か。正直、自分自身に半信半疑だった。2日後の21日午前中に、牛田委員長より直接電話があった後、メーリングで『北海道建築士会に民間判定士数名の参加要請が来ています。対応できる判定士は事務局まで連絡下さい。直接電話で。』と再度連絡が有った。本当に来たんだ。緊張しつつ、本部事務局へ参加受諾の連絡をした。恵庭支部の木幡さんと共に2名の民間判定士派遣が即日決定した。

ここまでの一連の動きは、東日本大震災時には全くなかったことだ。北海道から民間判定士の派遣が実現しなかった事等を踏まえ、平成25年に発足した被災地応急支援特別委員会。北海道との連携強化を図るための整備方針の確立、災害ネットワーク構築等の取組みの成果だ。

派遣前日の24日、道庁8階で2次派遣の30名の判定士がガイダンスを受け、現地状況の説明を聞き、判定ポイントの確認後に班結成をした。周囲にはただならぬ緊張感が漂う中、北見市からの派遣となる同委員会の三坂さんも真剣な面持ちだった。25日熊本入りし26日～28日までの3日間、判定作業を行った。朝、熊本市役所の対策本部に集合し、判定コーディ

ネーターから、地図を基に調査対象の指示を受け、終了時は完了報告をする。調査地域は水前寺町、益城町を木幡さんとペアで廻った。益城町においては各メディアで報じられている通り壊滅的な被害を受けている地区ではあるが、私達が判定した地域は構造部材の損傷が比較的少なく、非構造部材の損傷、主に屋根瓦、外壁モルタル、タイルの剥落が多かった。罹災証明との混同や赤判定だった場合、感情的になるケースがあると聞いており、覚悟を持って判定に臨んだが、そのような方は皆無だった。東西アスファルト協会の協賛を受け準備した緑色の『北海道建築士会』ネーム入りベストを見て、『遠い所から来て頂いて有難う、御苦労さま』と道ですれ違う方々に温かい御言葉を沢山いただいた。余震が続き、地鳴りが聞こえる異常な状況下で地元住民の方々には脱帽しきりだった。

応急委員という立場上、年数回行っている応急危険度判定訓練に参加し、判定内容を把握していたため、作業は滞りなくこなせた。今回の派遣で知った事は判定コーディネーターの役割、重要性だ。調査対象までの距離、交通手段、建物規模等から1日の件数を割出し判定士に指示を出す。判定活動の要になるコーディネーターの育成、訓練も今後、必要になると思う。

今回経験させて頂いた事を踏まえ、札幌市、恵庭市の建築士会との協定締結に学び、2次災害防止のため、よりスピーディーに行動できるよう、我が町との協定推進に努めて行く所存です。

## 熊本地震応急危険度判定支援について



木幡 正和 (恵庭支部)

4月21日に道士会から電話があり、北海道からの2次派遣に民間判定士の要請があるということで、即答しましたが、その後職場(恵庭市)からボランティア休暇を取得するとともに、市長へ報告を行い支援に参加することができました。

2次派遣隊は、道職員10名、特定行政庁5市から14名、北海道開発局4名、道士会から2名からなる30名で構成されました。

25日に出発し26日から28日の3日間応急危険度判定作業を行い、29日帰道する日程で派遣され、判定にあたっては、日高支部の三嶋さんとペアを組み次のとおりの調査を行いました。

判定作業1日目は、熊本市中央区九品寺地区を面的に、主に戸建て住宅を18棟、2日目は、中央区水前寺3丁目付近で、マンション・戸建て住宅等を11棟、3日目は、益城町広野地区で、戸建て住宅4棟と合わせて33棟調査し、調査済(緑)が24棟、要注意(黄)が4棟、危険(赤)が5棟という判定を行いました。

危険判定には倒壊した建物はなく、外壁のタイル落下の恐れ、屋上階の煙突が余震による落下の恐れ、ブロック塀の倒れなどで、構造体そのものでのものはありませんでした。

また、判定シートを貼る前には、建物所有者がいる場合はきちんと説明をしておく必要があり、特に危険(赤)を貼る場合には、できるだけ状況説明をすることが大切だということを感じました。今回、銀行が入居している建物があり、まず支店長に(営業のことがあるため)、マンションは、管理

人に(入居者対応のため)理由をしっかりと伝えることで、納得してもらいました。

それから、判定にあたっては住民の方と話す機会があり、1回目(前震)と2回目(本震)の揺れ方が全然違ってその時の不安や、集合住宅(マンション)で水が出ない不便さから避難所へ行く年配の方がいるなどの、生の声を聴くことができ、震災の大変さを知ることができました。

そして、判定士に対する住民の期待そして感謝の思いが、市電で移動しているときにヘルメットを見て声を掛けられたときや、調査にあたっては話をしていながら、伝わってきました。

熊本入りの際に、空から見た屋根の青さ(ブルーシートがかけられ)が多いことで、大変なことになっていることを再認識し、これからの作業をしっかりとやらなければならない気持ちを持ったところでした。

今回調査にあたったところは、大きな被害がなかったところでしたが、判定作業を行うことで住民が安心感を得られることがわかり、早急に判定作業を終わらせる必要があると感じました。

そのほかに、街中には震災ごみが大量に出されており、今後その処理に多大な時間がかかることだろうと思いました。

これからは、旧耐震の建物は耐震診断を受け、耐震改修を行うことが必要と実感したので、普及・啓発に努めたいと思います。

最後に「支えあおう熊本いま心ひとつに」

## 熊本地震への判定士派遣



### 被災地応急支援委員会

副委員長 小町 美穂 (札幌支部)

最初に熊本地震の応急危険度判定士の派遣について報告いたします。

熊本県で平成28年4月14日(木)21時26分最大震度7の地震が発生しました。

震源の付近の阿蘇・熊本市でも震度6強を記録する地震です。

そして最初の地震から10日ほどたった25日現在においても震度4の余震が続いている状況です。

応急危険度判定においては、翌日15日には熊本県内の士会会員さんに応急危険度判定の募集がおこなわれ、17日には熊本近郊の建築士会会員さんや福岡県・鳥取県・静岡県など他の県からも多数参加したとの報告が届いています。

北海道建築士会は道からの協力要請があり、4月25日出発、26日～28日の判定作業、29日に帰還の日程で2名の派遣を行いました。

まずは判定士2名の派遣を行ったことをご報告申し上げます。

続いて平成28年5月28日(土)苫小牧において机上訓練を開催します。

被災建築物に対する民間判定士と行政職員(特定行政庁以外の市町村職員)による応急危険度判定が円滑にできるよう準備を進め、道内のどこかが被災を受けた場合、迅速かつ的確な対応が図れるよう、近隣支部、同じブロックの支部、全道の支部へと協力体制を順次整えたいと考えています。

今回は、机上訓練のほか熊本地震の応急危険度判定業務に参加した判定士のお話も伺う予定です。

平成23年東北地方太平洋沖地震などの経験から事前の準備は行っていますが、まだまだ不足していると言っても言い過ぎではありません。

北海道でもいつ震度7の地震が発生するか分かりません。

地震が起こってからでは遅いのです。

その為に事前の体制を整え災害時には迅速な体制を整えられるよう応急危険度判定士の習得・訓練への参加・北海道建築士会 被災地応急支援ネットワーク登録をお願い致します。

最後に平成28年4月に発生した熊本地震によりお亡くなりになられた方へ心からのご冥福と、被災された皆さまへ謹んでお見舞い申し上げます。

## 「札幌ハルニレプロジェクト」に助成



### 地域貢献活動センター委員会

委員長 本間 恵美 (小樽支部)

3月10日に第1回委員会を開催し、申請のあった活動について助成を決定しました。地域貢献活動センター委員会は、代表が高野会長、副代表に鈴木副会長、委員には石塚青年委員長、工藤女性委員長、針ヶ谷まちづくり委員長と私の6名で行っており、年4回の開催予定です。別途、助成の応募があった時点で審査・選考委員会を開催します。また、全道大会の会場では、近年の助成事業をパネル展示しますので是非見てください。

今年度の助成第一号は「札幌ハルニレプロジェクト」です。札幌支部の会員が参加しています。

札幌市の大通り西1丁目にある札幌市民ホールの前に、推定樹齢300年のハルニレの大木があることを知っていますか？(実は私はその存在を知りませんでした。)かつてここには、現在は中島公園に移築されている豊平館があり、この木のあたりはその庭であったと考えられているようです。平成21年に、札幌景観資産にも指定された由緒ある木です。

このプロジェクトでは、そろそろ寿命を迎えそうなこのハルニレの種子を採取・栽培して、希望するところ(小学校などを予定)に配布し植樹も行う予定です。また、広報冊子を作成して、子どもたちにこのハルニレの木の歴史を学んでもらうと共に、札幌や北海道の歴史も学んで欲しいということです。

先ごろ豊平館の改修工事が終わり、リニューアルオープンが6月20日に決まりました。札幌を訪れた折には、きれいになった豊平館と共に、創建当時の豊平館を見ていたかも知れないこのハルニレの木も是非訪れてみてください。

地域貢献活動センターでは、引き続き募集を行っています。すでに地域の方々と活動を行っている、もしくはこれから活動を予定している方は是非、申請を検討してください。ホームページを見ていただくと、これまでの助成活動を見ることができます。

募集期間：1月5日～9月30日

助成金額：1件20万円まで(但し予算の範囲内で審査委員会が決定した額)

参画建築士：継続して3年以上の会員2名以上の参画が必要

対象事業：9つのテーマに沿うもの(テーマはリーフレットもしくはホームページ参照)

問い合わせは事務局まで。

**苫小牧支部 苫小牧工業高等学校建築科卒業設計コンクール審査に参加して**



支部長・事務局  
**荒川 浩之**

支部事務局より寄稿の依頼を受けどうしようかと悩んでおりましたら、3月号の北海道建築士で、平成27年度高校生建築デザインコンクール「子どもたちのための小さな図書館」の入選作品発表記事があり、最優秀作品賞、優秀作品賞3点中の2点、佳作4点中の2点で苫小牧工業高等学校生徒の作品が選ばれているのを見て、その悩みも解消しました。

当支部では、同校建築科の卒業設計作品について審査を行い最優秀賞1点、優秀賞2点を選考し、表彰（校長より授与）しており、今回、この支部活動を通して感じたことをご報告したいと思います。

今年で3回目となる審査は、平成28年2月9日、例年通り建築科の先生方にご協力いただき、同校製図室にて10名の会員で行いました。作品をみてまず驚いたのは、卒業生39名全員が参加しており、その要求図面等についても完成されたものである事でした。前は、約半数の参加しかなく、未完成のものも散見されました。審査を終えて感じた事は最優秀賞が女性、優秀賞は男性と女性、女子学生の活躍が目立ったことでした。今回の卒業設計が、「わくわくを生む場所」をテーマとした宿泊機能付き体験学習施設を北大演習林（苫小牧）内に建設するという計画であったので自然的＝やさしさ＝女性的な要素が多かったのかも知れません。これからも建築を目指す若者が定着していくことを願い、この活動を続けて行きたいと思いました。

**北広島支部 変わり映えもなく**



支部長  
**関川 修司**

事務局が変わりました。平成28年度幕開け。もう少しの間、支部を存続させたい、事務局兼務も考えていたが、少しの間離れていた方が帰ってきて事務局を引き受けてもらう。有難い。

さて、今年度で3年目になるヘリテージ事業に絡んで、ある支部に電話をしてみた。支部の内情は、同様。高年齢層化、新会員不足。変に安心感を持ってしまった。

就職して、何もわからず、建築士会に入れられ、今に至っている。

本職に迷い、行き詰まったとき、恥と思わず相談できたのが、職場での同僚ではなく、他支部の会員

であった。会って飲めば、肴にされるが、本当に困ったときの問題が解決したから、良しとしよう。会員同士と言うより、長年の気の置けないヤツラである。更に、現職を終え、支部長という大任を一寸横に置いて、道楽三昧。この道楽、士会にも大いに関係があり、またしても、各支部会員にお世話になっている。さすが、大所帯。機動力というか、数というか、士会の力未だ健在を実感した。

これだけお世話になった建築士会、支部存続が、恩返しと思っているが、妙案が湧いてこない。他支部長にも相談しているが。

金も名誉も地位も関係なく、ヤンチャなことも出来る「集まり」が建築士会。これを若い方一人にでも伝え、入会して、活躍して貰いたい。

さりとしてここに書いても、会誌。

**笠原爺ィの釣り日誌**

～DNAと背後霊「魚釣り八十八か所」の巻～

**4**

**魚釣り、札所のルール**

日本は海に囲まれ、至る所に、好釣り場がある。

又、内陸でも、周囲の海面から上昇する水分は、豊かな雨を降らせ、水質も良く、川や湖に、魚が、沢山居る。従って、釣り場は数知れない。そこで、爺ィは、自分で「札所のルール」を作った。

“身長30センチ以上の魚”を「札所」とし、又、30センチ以下は、リリースすると！。

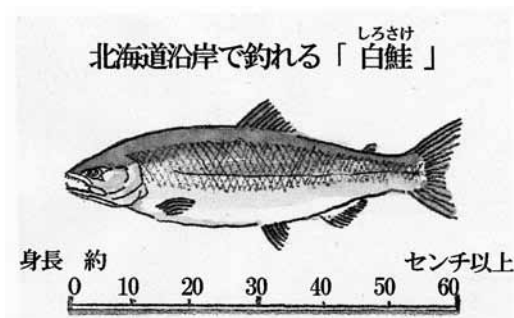
お寺巡りの「四国八十八ヶ所」から始めた、このシリーズ、小さい魚は逃してやることにしたのだ。

「大きくなって又、帰ってこいヨ」と。

既に、湿原等の稀少魚種の「いとう」等は、リリースが当たり前の時代。

資源保護は、これからの釣り人の良識である。

つづく





## CPD認定プログラム(5月認定)

### ◆第58回建築技術講習会

〈日程及び会場〉 6月15日(水) 13:25~16:30  
 〈単位数〉 3単位  
 〈問合せ先〉 (一社)北海道建築士苫小牧支部  
 TEL 0144-38-8178

### ◆建築士による住教育出張講座「建築士向けセミナー」

〈日程及び会場〉 6月22日(水) 19:00~21:00  
 〈単位数〉 2単位  
 〈問合せ先〉 (一社)北海道建築士札幌支部  
 TEL 011-222-0924

## 道士会の動き

### 道本部の主な会議報告 (5月)

#### ◆第2回ヘリテージマネージャー委員会

〈開催日〉 5月13日(金)  
 〈議題〉 講座受け付け当番

#### ◆まちづくり委員会WEB会議

〈開催日〉 5月14日(土)  
 〈議題〉 まちづくりフォーラムについて

#### ◆第3回理事会

- 〈開催日〉 5月20日(金)  
 〈議題〉 ※議題についてはすべて承認済
- 1) 平成28年一般会計事業報告及び収支状況報告(3月末)について
  - 2) 平成28年特別会計事業報告及び収支状況報告(3月末)について
  - 3) 第41回全道大会(室蘭大会)の実施計画及び収支予算(案)について
  - 4) 全道大会開催ローテーションについて
  - 5) 熊本地震応急危険度判定士の本会からの派遣について
  - 6) 熊本地震被災地への見舞金及び義援金の対応について
  - 7) 平成28年一般会計収支予算の流用(案)について
  - 8) (公社)日本建築士会連合会会長表彰推薦者(案)について
  - 9) (一社)北海道建築士会会長表彰推薦者(案)について
  - 10) (一社)北海道建築士会相談役の推薦(案)について
  - 11) (一社)北海道建築士会後志支部財政調整積立資産の取崩(案)について
  - 12) 平成28年度「文化遺産を活かした地域活性化事業」立替金について
  - 13) 定款第6条に基づく会員の入会承認(案)について

### 関係機関等会議出席状況 (6月)

21日 日本建築士会連合会総会  
 高野会長・石川前統括理事出席

### 道本部の主な行事予定 (6月)

- 支部長・支部事務局長会議 〈開催日〉 6月4日(土)
- 青年建築士のイベント 〈開催日〉 6月18日(土)・19日(日)

## 編集後記

熊本地震から1ヶ月半たちました。被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。また、被災者の救済と被災地の復興支援のためにご尽力されている方々に深く敬意を表します。本稿でも報告があったように、この災害ではじめて北海道の民間建築士(本会会員の三嶋氏)が応急危険度判定に派遣されました。今後もこのような災害では、応急危険度判定が必要とされ、行政対応のみではなく、民間からの参加促進が求められることから建築士の役割がますます重要となっていくと思われま。読者のみなさん、ともがなばりましょう。

情報委員会 熊谷 智(苫小牧支部)

## 第6回 まちづくりフォーラム in 苫小牧

### 『苫小牧駅前通商店街のコレマデとコレカラ』

◎日時 6月25日(土)

◎場所 苫小牧信用金庫2階市民ホール  
 (JR苫小牧駅南口前集合)

◎申込 下記URL又はQRコード  
 若しくは別紙申込書  
<https://goo.gl/r70HJg>  
 6月15日締切



◎参加無料(定員 50名)

#### まちあるき

11:00  
 苫小牧駅南口スタート  
 まちあるきの後、商店街で昼食  
 「まち市」「足湯」も体験!

#### 語り・ディスカッション

13:30~16:30  
 苫小牧信用金庫2階市民ホールにて  
 苫小牧市・商店街・高校生による中心市街地活性化の取組発表  
 「苫小牧のコレカラ」をみんなでトーク!

## 被災地応急支援委員会、女性委員会からのお知らせ

### ■北海道版HUG(Doはぐ)使用

#### 避難所運営ゲーム「HUG」研修会

日時: 7月16日(土) 14:30~17:10  
 会場: 北海道自治労会館(札幌市北区北6条西7丁目)  
 定員: 30名  
 申込: (一社)北海道建築士会事務局 浦上まで  
 電話 011-251-6076・Eメール urakami@h-ab.comにて  
 参加者氏名・所属支部・連絡先を添えて申込みください

情報委員会委員長/早川 陽子  
 副委員長/齋藤 勝哉・高松 徹・森 勝利  
 委員/熊谷 智・柳山美保子・鈴木 雅人  
 柏倉 晶憲

### 北海道建築士 No.226号

印刷 平成28年5月/発行 平成28年6月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会  
 〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地  
 大五ビル  
 電話 (011)251-6076番  
 URL <http://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎  
 〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目  
 電話 (011)811-7151番